

学校だより



二 中 の 風

校訓 真実の一日 誠実の一日 充実の一日

令和4年度
八代市立第二中学校
令和5年1月25日
第9号 文責 里永典隆

令和5年（2023年）、今年もよろしくお願ひします

令和5年（2023年）が始まりました。本年もよろしくお願ひいたします。年末年始はいかがだったでしょうか。新型コロナウイルスは、一時期、感染者数も落ち着いていましたが、全国的に感染者数が昨年暮れから急激に増加しました。熊本県内でも1日の感染者が過去最高を更新した日もあり、八代地域でもたくさんの感染者が出ていることが推測されます。今年1年間、コロナ禍が少しでも縮小し、落ち着いた学校生活を送ることができることを祈るばかりです。引き続き新しい生活様式と予防対策を進め、自他の命と健康を守ることにについては留意してほしいと思います。

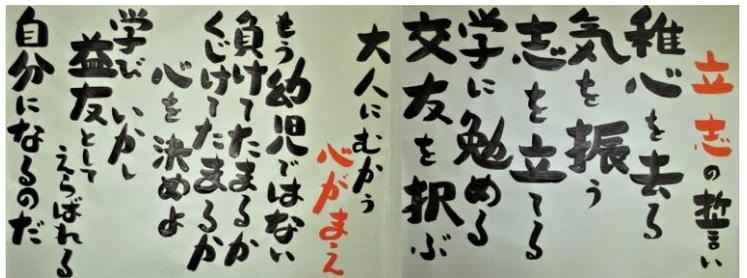
始業式では「3学期は年間のまとめの学期であり、新しい学年の0学期」であること、「目標をしっかり持つこと」について話をしました。新年にあたり今年1年間の目標を立て、その目標達成に向け、進んでいくとともに、4月からの進学・進級に向けての準備の学期として取り組んでほしいと思います。また、3年生はいよいよ受験本番。目標達成に向け頑張りましょう。



【1年生の廊下掲示より】

新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザにも注意を！

1月末を迎え、新型コロナウイルス感染者数は一時期に比べると減少してきました。しかし一方で、熊本県内においてはインフルエンザの罹患者が増加傾向にあります。3年生は私立高校専願・特待入試、公立高校前期特色選抜が終わりました。これから、受験も後半戦。健康に留意して生活を送ってほしいと思います。



【2年生の廊下掲示より：立志式に向けて】

2月10日（金）に予定しておりました授業参観、PTA総会及び学年PTAについては、新型コロナウイルス感染予防の観点から授業参観は中止、PTA総会については書面による決議となります。また、2年生立志式は保護者の参観なしで実施します。ご了承ください。

お世話になりました、学校評価アンケート

2学期半ばに実施しました前期学校評価アンケートについて、保護者の皆様にはお忙しい中に回答いただき、ありがとうございました。総数で220件程度のご家庭から回答をいただきました。各項目4点満点中、以下のような結果となりました。前年度と比較して、項目によっては若干低くなった項目もありましたが、ほぼ同じ状況でした。また、記述でいただいたご意見に対して、校内で対応できる部分については、職員で話し合い、学校で対応していきます。また、学校だけでは対応できない部分については教育委員会や市当局に相談してまいります。

質 問 項 目		R 4	R 3
1	子どもの話や学級だよりなどから、二中の教育活動についてはよく知っている。	3.02	3.01
2	二中の教育活動については、全体的には保護者として信頼している。	3.24	3.37
3	二中の先生は、生徒の悩みや相談によく応じてくれている。	3.13	3.22
4	二中の先生は、生徒の進路希望の実現に向けて協力してくれている。	3.13	3.14
5	子どもの話や授業参観などから、授業の教え方は、分かりやすい。	3.04	3.14
6	自分の子どもは、予習・復習・宿題など、家庭学習を頑張っている。	2.66	2.78
7	自分の子どもは、家では規則正しい生活ができている。	2.84	2.85

楽しい学校生活を送るために！！ 『心のアンケート』結果集計より

昨年12月に実施した『心のアンケート』の主な結果について、お知らせします。

1 「学校生活は楽しいですか」

学校生活が「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答した生徒は、回答した生徒数386人中352人、92.0%という状況でした。しかし、14人、約3.6%の生徒が「楽しくない」と回答しています。理由は学習面や人間関係など様々ですが、すべての生徒が楽しく学校生活を送ることができるように取り組んでいきたいと考えています。

2 「学校の授業はよくわかりますか」

授業について「よくわかる」「まあまあわかる」と回答した生徒は、386人中300人で77.7%という状況でした。熊本県教育委員会は、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に基づき、「誰一人取り残さない学びの保障」「教職員一人一人の授業力の向上」「ICT機器の活用」を進めています。これらを受け、学校においてもわかる授業づくりに向けての授業改善への取組やタブレットを効果的に活用した授業づくりを進めています。本校の学力の状況として、12月に実施した熊本県学力・学習状況調査結果については、次回の学校だよりでお知らせします。

3 「いじめられたことはありますか」

本年度になって、「いじめられたことがある」と回答した生徒は28人いました。内容は「冷やかし、からかい」「仲間はずれにされた」「たたかれた、蹴られた」というものが中心でした。15人は「現在は続いている、解決した」と回答していますが、13名はまだ続いていると回答しています。現在、解決に向けて対応しているところです。学校は集団生活を送る場ですので、人間関係のトラブルや意見の食い違いが生じることは必ずあります。その中で、みんなで協力して解決していく力を身に付けていくことが大切です。そのことが社会に出たとき、社会人として生活していく時に大きな力となっていきます。困ったり悩んだりした時は一人で抱え込まず誰かに相談すること、困ったり悩んだりしている人を見たときにはしっかりと寄り添うことなど、思いやりのある中学生に育てていきたいと思ひます。

4 「自由に使える情報通信機器をもっていますか」

この質問に対し、330人、85.5%の人がスマートフォンまたは携帯電話を所有しています。それにパソコン、ゲーム機などの情報通信機器を加えると369人、95.8%の人がSNSを行うことができる環境にあるといえます。種類としては多い順に①「スマートフォン295人(76.4%)」、②「ゲーム機」268人(69.4%)、③「タブレット」139人(36.0%)の順でした。「使用についての家庭での決まりがある」と回答した生徒は232人、60.1%で、決まりがなく自由に使っている家庭が約4割あります。また個人情報やネット上に載せたことがある生徒が28人、悪口などを載せた生徒が12人いました。基本的な生活習慣の確立や家庭学習の時間確保に大きく影響しているのが情報通信機器の活用であると考えられます。全国的にもSNS等に関する大きなトラブルも発生しています。学校では機会あるごとに生活リズムの確立と情報通信機器の利用については話をしていきますので、ぜひご家庭でも親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思います。

5 「自分は誰かの役に立っていると思ひますか」

自己有用感についての質問ですが、「役に立っている」「少しはある役に立っている」と回答した生徒は、386人中269人で、69.7%という状況でした。中学生は生徒会活動や朝のボランティア活動、あいさつ運動など積極的に活動しており、とてもがんばっているという印象を持っていますが、「全く役に立っていない」と回答した生徒も39人(10.1%)程度おり、気になるところです。特色ある体験活動を進めたり、ボランティア活動を実施したりするなどして自己有用感を感じることができる活動をこれからも積極的に実施していきます。

学校では今回の『心のアンケート』以外にも各学期に教育相談期間を設定し、事前アンケートを実施して一人一人と相談する時間を設けています。また、2人のスクールカウンセラーが配置され、定期的に来校していますのでご相談いただければと思います。カウンセラーへの面談希望がありましたら、各担任または養護教諭にご連絡ください。また、各ご家庭でお子様と話をすることで気になることなどがございましたら、学校へ連絡していただければ幸いです。家庭と学校がしっかりと連携して、子供たちの健やかな成長に繋げていければと考えています。